

KISCC

財団法人 かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

EC-MAC/AC

創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。

9月号

September 2011

今月の表紙

＜企業概要＞

所在地：霧島市国分川内556-1
創業：平成5年5月
資本金：3,000万円
従業員数：13名
TEL：0995-47-6050
FAX：0995-46-4711
E-mail：kamada-k@po.mct.ne.jp
URL：http://www.kamada-k.com/

株式会社 鎌田工業

代表取締役 鎌田 政人

畜産県鹿児島を支える
安心安全な
給餌飼料の製造



【発酵飼料】

今月の表紙は、平成21年10月に「焼酎粕、でんぶん粕など地域未利用資源を利用した、短期乳酸発酵飼料の販路開拓」で国の地域資源活用事業計画に認定された「株式会社鎌田工業」代表取締役社長鎌田政人さんです。

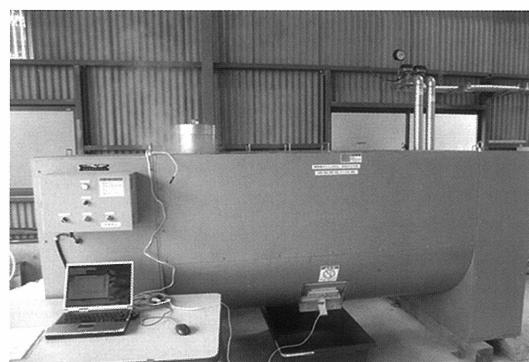
株式会社鎌田工業は、インフラ整備・設備施工会社として創業されておりましたが、平成19年5月バイオサイエンス事業部を設立、乳酸菌の専門家（薬学博士）を招へいし人間の健康維持に有益な働きをする乳酸菌に着目、乳酸菌が持つていてる生命力、有用性を引き出し健康に活かすための取り組みに着手されました。

折しも輸入濃厚飼料の相次ぐ高騰で農家の経営努力の限界を超えている現状がある中で、自給飼料に可能性はないのか模索したところ

多くの未利用資源であるでんぶん粕、焼酎粕が活用されていないことに着目。かごしま産業支援センターの平成20年度地域資源活用新事業創出支援事業助成金を受け、新技術導入により未利用資源を活用した「短期乳酸発酵飼料」の製造開発を実現しました。

この発酵飼料は、有用乳酸菌の他に肝機能を改善すると言われているオルニチンを高含有していることも見出されており、牛への給与試験では、試験区全頭に格付けで最高級のA5の肉質が得られ、さらに、うま味成分の「イノシン酸」が通常の3倍以上、豚への給与試験においては通常の約9倍得られたとのことです。

昨今、肉質において、うま味成分（イノシン酸、グルタミン酸、



【飼料発酵装置】

CONTENTS

- 2 今月の表紙
3 この人に聞く
4 ベンチャープラザ鹿児島「二水会」第50回記念大会
6 女性経営者登場
7 「情報モラルと人権への配慮」セミナー
8 お役立ち情報 IT支援企業紹介
10 鹿児島県工業技術センター紹介②
11 この発明を製品化してみませんか？
12 「製造業海外販路開拓支援事業セミナー」
14 受発注情報
15 Information

ビタミンEなど)が注目されるようになってきてることを考えると、飼料としての効果ばかりではなく、バイオ技術を使った次世代の飼育方法として、機能的な面からの経済効果も期待されています。

これらを総合的に活用し、地域内で循環させることで利益の出る農業経営に貢献できる企業となることを目指して、家畜の飼料製造に取り組んでいます。

この人に聞く！

**若者よ、
グローバルセンスを磨け！**



株式会社 藤田ワークス
代表取締役社長 藤田幸二

上海から鹿児島へは飛行機で約80分。東京よりも近い位置に上海があり、しかも現在は週4便の定期便がある。皆さんはこの事実をどのように受け止めますか？

18世紀までの世界経済の中心はヨーロッパであり、19世紀はアメリカ、そして21世紀は中国とインドを中心としたアジア諸国に移行している。先日、訪れた上海地区は想像を絶するスピードで発展を続けており、特に郷鎮企業*を含むローカル企業は爆発的な内需により凄まじい勢いで業績を伸ばしている。潤沢なキャッシュを手にした企業は競って最新鋭の設備投資を行い、品質も日本品質に限りなく近づいている。驚いたことに人件費や材料費・物価の高騰や設備等の近代化により製品価格が高騰し、日本と同じ若しくは高い価格で受注していた。価格競争に明け暮れるデフレ日本とは対照的な事実、経済情勢である。確かに、今の日本は東日本大震災による未曾有の災害で混乱し、同時に不安定な世界経済により極端な円高等の悪夢が襲っている。

しかし、歴史を紐解くと我が故郷鹿児島の偉人たちちは早くから海外に目を向け、グローバルな戦略にて薩摩藩を支えた。江戸幕府から見ればその驚異的な力の源は密輸だったかもしれない。しかし、当時の薩摩藩からすれば江戸幕府の理不尽な施策への対抗処置である。薩摩の勇士達は自律国として貿易を行い、力を蓄え倒幕の中心をも担い、我が愛する日本国をヨーロッパ諸国からの植民地化をも阻止した。その恩恵で我々は生きている。攻撃は最大の防御と言う。薩摩のDNAを受け継ぐ私達が、今こそ率先垂範して出遅れた自由貿易協定をも推進すべきではないか。

日本はとても住みやすい。でも、居心地が良いのと、先々も食べていける事とは別問題だ。ここ十数年来所得の増えない日本人は大勢いる。日本にはヒト、モノ、金、技術、情報等全てがある。しかも国民性は、正直、勤勉、まじめさを特長としているのに国力が弱いのは本当におかしい。長所を存分に活かし正しい方向に歩み出せば、我々日本人は必ず成功できる。たとえ失敗しても起き上がり、また挑戦すれば良い。

若者よ！そして、ぼっけもんよ！！臆病で保守的な気持ちを捨て、今こそ独自性を磨き世の中の変化に立ち向かうチャンスの時だ。自分たちの長所を活かし自信を持って世界に立ち向かっていけ！今の円高は君たちの為にある。数多く海外へ出向きグローバルに戦える「グローバルセンス」を身に着けてこい！

*「郷鎮企業」

中国農村部において農業・工業・建築業・運送業・サービス業などの業種に従事する下級公営企業。農村部の低賃金労働力を生かし、市場の需給状況に即座に反応する機敏な経営方式を探ることで急激に成長した。

特別企画

ベンチャープラザ鹿児島

「二水会」

第50回記念大会

平成23年8月10日(水)、鹿児島市内のホテルにおいて、(財)かしま産業支援センターと(社)鹿児島県工業俱楽部、(社)九州ニュービジネス協議会の共催により「ベンチャープラザ鹿児島『二水会』第50回記念大会」を開催しました。

これまでの12年間で合計50回を数え、約100社の県内企業がビジネスプレゼンテーションを行い、約5000名の方々に参加していただいております。

今回の第50回大会は、記念式典、特別記念講演、過去の二水会発表企業によるプレゼンテーションを行ったほか、これまでの発表企業の展示ブースも設けられました。

古賀社長への感謝状贈呈

古賀社長



島地域委員会の鷲津委員長と九州ニュービジネス協議会の松尾会長による挨拶と、来賓として鹿児島県の丹下副知事、九州経済産業局の滝本局長からご挨拶をいたしました。記念式典を開催しました。

続いて行われた感謝状及び記念品贈呈式では、「二水会」の立ち上げから今日までその運営と併せて鹿児島県内のベンチャー企業育成にご尽力いただいている、九州ニュービジネス協議会理事でニユービジネス支援委員会の古賀光雄副委員長(トマツ・ベンチャーサポート株式会社代表取締役)に対し、感謝状と、記念品が贈られました。

第一部 記念式典

第二部 記念講演会



株式会社やづや
会長 矢頭美世子 氏

現在は、第50回を記念しての講演会は、九州ニュービジネス協議会の表取締役会長の矢頭美世子氏が「夢は実現する」人材育成は私の使命」と題しての講演が行われました。

現在は、成功した女性経営者として、その知識や経験を大学の非常勤講師として社会の、特に若い世代に伝えるなど、文化振興や地域活性化活動にも取り組まれておられます。が、ご主人と2人で会社を起こして香醋ブームに火をつけるまでのご苦労や、ご主人の急逝後には、社長に就任し、やすやを年商300億円の企業になるまで育て上げてきた道のりなどを通じて、人材育成に取り組む意味を伝える力リスマ経営者の講演に、会場は熱心に聞き入っていました。

第三部

プレゼンテーション

休憩をはさんで行われたプレゼンテーションにおいては、過去に二水会で発表した5社に、当時の思い出、発表後の変化や現状などをお話しいただきました。

プレゼンテーション発表企業



株式会社 エルム
代表取締役 宮原 隆和 氏
第1回、15回発表

株式会社 ストーンワークス
代表取締役 上中 誠 氏
第28回発表



有限会社 タラチネケミカル
代表取締役 迫 正人 氏
第44回発表



株式会社 日本計器鹿児島製作所
代表取締役 青柳 衆一 氏
(発表: 取締役 技術部長 加藤 氏)
第29回、42回発表



富士エネルギー株式会社
代表取締役 亘 元明 氏
(発表: エネルギー事業部 亘 氏)
第26回、29回、41回発表

展示ブース

会場には、過去の二水会で発表した企業の製品・商品の展示場を設け、来場者に見学してもらう機会を作りました。

今回発表した5社を含めて12社が自社の製品・商品を展示し、来場者へアピールをしていただきましたが、熱心に担当者から説明を聞かれる方もおられ、良いPRの機会となつたようです。

発表社以外の展示企業

株式会社 栄電社（鹿児島市）
株式会社 福元技研（鹿児島市）
株式会社 国元商会（姶良市）
〔旧社名 協同組合ケトラファイブ〕

株式会社 明豊工コ・テクノ
(出水市)

株式会社 A・R・P（鹿児島市）
株式会社 アマミファッショング研究所

有限会社 友創（日置市）
(奄美市)

毎年4回程度の開催を10年以上に渡つて積み重ね、ようやく第50回の節目を迎えた「二水会」ですが、県内ベンチャー企業の販路の開拓、業務提携先や金融機関による支援の確保など、その育成に果たしてきた役割には大きなものがあります。

今後もさらに100、200と回を重ね、ベンチャー企業の育成、発掘にさらなる支援を行つていただきたいと考えていますので、皆様方のご協力をよろしくお願ひいたします。



展示ブースの様子

女性経営者登場!

地域の資源を活用した
新しい化粧品づくり

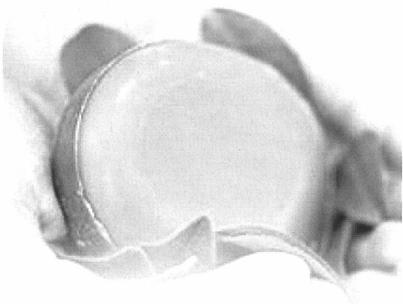


株式会社 スマイルユウ
代表取締役 河原 比呂子

志布志市有明町原田100-5
Tel 099-471-5035
Fax 099-471-5039
URL <http://www.smileyous.com/>

福岡から鹿児島へ

私は、7年前に福岡から、この志布志市有明町に転居してきました。鹿児島に来て一番驚いたのは、茶葉の多さでした。全国茶生産2位ということも知らなかつた私にとって、衝撃的な光景でした。



【緑茶石けんしぶし】

この茶畠を見て一番に思い浮かんだのは、私に母がよく言つていた言葉でした。「子供の頃から肌の弱かつたあんたのおむつかぶれや汗疹は、お茶で湿らせたガーゼで拭くとすぐ治つてたよ。」と言う言葉です。福岡でエステサロンを経営していた頃から、敏感肌の人でも使える、やさしい化粧品を作りたいと考えていた私にとっては、このお茶との出会いに運命を感じました。

そして、自分の体験から「お茶を使って、自分と同じように敏感肌で悩む人たちに喜んでもらえる石けんを作りたい」と思い起業しました。

石けん開発から3年後、次に取り組んだのは、シャンプーでした。自分自身、長年の毛染めやパーまで髪が痛み、細くなつてきて悩んでいました。色々と頭皮や髪を元気にするものはないものかと研究し、考え、たどり着いたのが柚子でした。その中でも、柚子の種子油には様々な頭皮を元氣にする成分が多く含まれます。

志布志町帖の茶農家西崎さんの無農薬有機栽培茶の中でもカテキンを多く含む二番茶のほか、三島村産ツバキ油やローヤルゼリーエキスなどを配合した、赤ちゃんからご年配の方まで、安心して使用できる無添加にこだわった緑茶石けんを1年がかりで開発しました。

この年、新志布志市が誕生し、市と志布志茶を全国に発信しようとう思いから、**緑茶石けん「しぶし」と名付けました。**



【南国のつや髪シャンプー】
【緑茶石けんしぶし】

志布志から全国に向けて

早いもので、今年の9月で石けん販売開始から5周年を迎えることができました。志布志から全国へといふ意味から始めたこの石けんも、皆様に愛されて30万個を突破することができます。これもひとえに、お客様や地域の方々のご協力のおかげ様と心より感謝しております。

現在も、地域の資源を活用した新しい化粧品作りに取り組んでおります。これからも、人に環境にやさしい商品づくりに取り組んでいきたいと考えております。

そして、さらに鹿児島、志布志を全国に発信していくよう、努力してまいります。

れている事を知りました。

曾於市末吉町でドレッシングを作るときなどに処分されていたゆず種子に着目、コールドプレス法と呼ばれる特殊な製法で高品質な100%ゆず種子オイルを抽出し使用しています。このオイルには頭皮の血行促進・頭皮の老化抑制・育毛サポート・頭皮と髪の保湿、またコラーゲンやヒアルロン酸を作る細胞の働きを活発にする作用があります。さらに、フケ予防や保湿効果の高いツバキ油(桜島産)や、紫外線から髪を守り頭皮を清潔に保つ、緑茶を配合しました。

企業に求められる 「情報モラルと人権への配慮」セミナー が開催されました

去る7月26日(火)、インターネット社会と人権・情報セキュリティ対策の効果的な進め方を目的に中小企業庁、九州経済産業局、(財)ハイパーネットワーク社会研究所の主催による情報モラル啓発セミナーが城山観光ホテルで開催されました。

セミナー概要

■ビデオプレゼンテーション

人権を尊重した個人情報保護の重要性と効果的な取り組みの必要性を、ビデオ「実践・情報モラル～あなたの会社（組織）は大丈夫？～人権に配慮した個人情報の取り扱い」により説明がありました。



■講演1「インターネット社会と人権」

株式会社インターネットプライバシー研究所
代表取締役 高木 寛 氏

ホームページ、ブログ、Twitterなどのサービスが、その是非の議論がないまま急速に拡大している中、個人情報保護のためのマネジメントシステムの策定や組織内での人権教育が重要であることを講演されました。

■講演2「情報漏洩を防ぐ情報セキュリティ対策のあり方」

独立行政法人情報処理推進機構 加賀屋 伸一郎 氏

情報漏えいの原因及び経路の9割はITと無関係の「人的問題」が原因となっている。対策には、まず現状調査の上、具体的な内容を考える必要があり、運営のシステム化と社員教育の両面での対策が必須であることなど説明されました。

■パネル討論「いまなぜ情報モラルなのか」

講演1、2の講師に(財)ハイパーネットワーク社会研究所青木事務局長を加え、同財団の会津副所長をモデレーターとして、セミナー参加者から集められた質問を基に討論が行われました。「情報漏えいをどのように発見するのか」「罰則対象者はどうなっているのか」など、企業側への影響に対する質問が多く、パネリストからは「社員個人ではなく、組織としてどう対策していくかが大切だ」などの発言がありました。

【お知らせ】

セミナーで使用されたCD-ROM「実践・情報モラル～あなたの会社は大丈夫？～人権に配慮した個人情報の取り扱い～」及び「情報セキュリティ対策の基礎知識」を企業貸し出し用として(財)ハイパーネットワーク社会研究所より提供されました。社内研修用にご活用下さい。ご希望の方は当支援センター(099-219-1275)までご連絡ください。

お役立ち情報

★支援企業紹介

既にホームページを開設しており、ブログも担当者が定期的に更新しているとのことで、マッチングするにあたり次の五点の要望を確認しました。

5月号、7月号と二回にわたってホームページアドバイザーによる支援事例を紹介してきましたが、今月号はマッチングアドバイザーによる支援事例を紹介します。

「マッチングアドバイザー」は、ホームページ制作を検討している企業の皆様の要望に合わせて、県内のホームページ制作会社とのマッチングを行っています。

今回は、これまでに行つたマッチングの中から、二つの成約事例を紹介します。

昨年12月、マルモ担当者より「ネットショップを開設しようと考えている。制作業者の紹介と、開設までのポイント・注意事項等の話を聞きたい」との相談がありました。

一例目は、鹿児島市谷山港に本社を置く株式会社マルモ。昭和三年創業の、かつお節製造販売の老舗です。

■ネットショップを開設したい

株式会社マルモ

制作にあたり、マルモの女性社員が中心になつて女性の目線で考え、栄養価が高く伝統の食材であり身近な食材である「かつお節」の本当のおいしさを知つてもらうために、こだわりぬいた商品を取り扱つていきたいとのことでした。

開設までの段取りや運営時のポイントを説明し業者選定の参考になるよう打ち合わせを重ね、より高い次元で要望に応えることができると思われる制作会社を八社選定し、マッチングしました。最終的に、紹介した八社の中から数社に見積もりを依頼、各社によるコンペ

制作にあたり、マルモの女性社員が中心になつて女性の目線で考え、栄養価が高く伝統の食材であり身近な食材である「かつお節」の本当のおいしさを知つてもらうために、こだわりぬいた商品を取り扱つていきたいとのことでした。

開設までの段取りや運営時のポイントを説明し業者選定の参考になるよう打ち合わせを重ね、より高い次元で要望に応えることができると思われる制作会社を八社選定し、マッチングしました。最終的に、紹介した八社の中から数社に見積もりを依頼、各社によるコンペ

■業者決定から公開まで

- ① ネットショップを開設して、個人向けの販売を伸ばしたい。
- ② 制作は外注したい。
- ③ 更新等、自社で管理したい。
- ④ 近隣の業者であること。
- ⑤ 低価格で制作してくれる業者であること。

【商品】
■ 削り立て花削り
・ 販売価格: 5,250円(税込)
・ 送料無料!!
・ 削り立てを、そのままお召し上がりください。
・ 削ったその日に、発送!
・ 削り立てを即日出荷いたします!

【特徴】
・ 鮮魚同様、削り節も鮮度が重要。削ってすぐが、一番おいしいんです。
・ 削ったばかりのかつお節は香り豊かで、そのまま食べても思わず「おいしい」と言ってしまうほど。
・ 一度は味わってみていただきたい、伝統的な和の味です。

【商品】
■ 削り立てを
・ そのままお召し上がりください。
・ 削り立てを、そのままお召し上がりください。
・ 削ったその日に、発送!

【特徴】
・ 少しでもおいしいままの状態で召し上がっていたいから。
・ 詰められた削り立て花削りは、そのままお召し上がりください。
・ 「おいしい」香りのいっぽん詰められた鮮度の良いかつお節を、どうぞご賞味ください。

開設後は、ネットショップならではの特性を活かした、受注分だけを限定販売する商品として、注文数に応じて決まった日に製造、即日出荷する『削り立て花削り』が好評で、売上を伸ばしています。

マルモでは、今後もネットショップを通じて、お客様に喜んでもらおうと、紹介した八社の中から数社に見える商品を提供していくよう、日々奮闘中です。

【会社情報】
■ 会社名: 株式会社マルモ
■ 代表者: 大茂 為繼
■ 業務内容: かつお節、削り節製造及び販売
■ 所在地: 鹿児島市谷山港2丁目1番4号
■ 電話: 099-262-0921
■ FAX: 099-262-0557

【商品】
■ かつお節のマルモ
・ 深緑色に輝く「枕崎」産の香り高いかつお節。
・ 花かづお
・ かつおパック
・ かつお節
・ その他のお商品
・ かつお節煎り
・ ギフト
・ マルモについて
・ お支払い方法
・ 通販について
・ よくある質問
・ お問い合わせ
・ 全ての商品から
・ お品書き

【問い合わせ】
TEL: 099-262-0239
FAX: 099-262-1338
受付時間: 9:00~18:00(土日祝を除く)
メールマガジン登録
お問い合わせ
TEL: 099-262-0239
FAX: 099-262-1338
受付時間: 9:00~18:00(土日祝を除く)
メールマガジン登録

株式会社マルモ
大茂 為繼
かつお節、削り節製造及び販売
鹿児島市谷山港2丁目1番4号
099-262-0921
099-262-0557

ホームページ
オンラインショップ
ブログURL
Twitter
<http://www.kk-marumo.co.jp/>
<http://marumo.shop-pro.jp/>
<http://ameblo.jp/umakatsu/>
<http://twitter.com/umakatsu>

■ホームページを開設したい ～島とうふ屋～

二例目は、奄美大島の有限会社

高野食品「島とうふ屋」。「島とうふ」を使った、豆腐ハンバーグ・豆乳わらびもち・湯葉・惣菜など様々な奄美とうふ料理を、昔懐かしい雰囲気のお店で食べさせてくれる大島郡龍郷町の定食屋さんです。今年2月の相談でした。

「来店されるお客様や観光客に、『ホームページはないのですか?』とよく訊かれるようになり、島内の業者にお願いしたのですが、立案段階で連絡が取れなくなり、業者との交渉や段取り・準備の仕方に不安を感じていました。」とのことです。

■発注者の要望

主な要望は、次の五点でした。

①できれば奄美大島内の業者に依頼したい。

②店舗案内、食事メニュー等の情報発信、イベント開催の告知等で知名度アップを図り、観光客の来店を増やしたい。

③新着情報等は自分で更新したい。

④更新作業のサポートをしてほしい。

⑤低価格で制作してくれる業者である」と。

「ホームページを見た」と言つて来店するお客様も増えているそうです。

以上の事を踏まえて、奄美市内の業者を二社、鹿児島市内の業者を六社、計八社を紹介しました。

■業者決定から公開まで

紹介時の説明を参考に、奄美市内の業者と鹿児島市内の業者それぞれ一社に提案依頼し検討されたそうですが、島外に情報発信して新たな顧客に来店していただくことが今回のホームページ開設の目的であるとの考え方から、島外の業者に依頼した方が良いと再考し、最終ことになりました。

業者との最初の打合せで、目的や思いを伝えたところ、ファーリングもぴったり合ってとてもスムーズに制作が進んだとのことです。

取材に伺ったときも、「二回目以降はメールでのやりとりでしたが、特に支障はなく、要望も全て取り入れてもらい、とてもいい感じでイメージ通りのホームページができて大満足です。」と大変喜んでされました。

開設後の評判も上々で、「ホー

■業者紹介について

マッチングする制作会社を選定するにあたりベンダーリストを作成しています。

昨年、県内のホームページ制作関係会社370余社を対象にアンケート調査を実施し、アンケート回答及び訪問調査に協力いただいた82社をベンダーリストとして収録し、当センターホームページにて公開しております。どなたでも閲覧可能ですのでホームページ制作で業者依頼を検討の場合はご利用ください。<http://www.kric.or.jp/>



ホームページをもつと 活用しませんか?

かごしま産業支援センターでは、7名のIT・EC等の専門家が、県内中小企業の皆様のホームページ活用を無料で支援します。

各号に掲載された支援事例をご参考にしていただければ幸いです。ご相談があればお気軽にご連絡ください。

◆連絡先

電話 099-219-1275
FAX 099-219-1279
メール kisc@po.kric.or.jp
URL <http://www.kric.or.jp/>

鹿児島県工業技術センター紹介②

第2回目の今回は技術支援から技術相談・指導と人材育成についてその成果も含めて紹介します。

県内企業の「技術的扱いどころ」

県工業技術センター

1 技術相談・技術指導

当センターは、「研究開発」と「技術支援」の両輪の業務を行つておなり、県内企業からの相談や要望に応じて技術相談・指導を行つております。

技術相談は来所、電話、FAXやインターネットなどから簡易な内容で迅速に対応できる事項です。年間4000件ほどの利用があり、無料で実施しています。主な相談内容としては試験・分析方法、排水処理未利用物の有効利用、パッケージデザイン開発、寸法測定、溶接切削、木材加工などです。一方、技術指導は回答までに時間を要する事項や分析・測定など伴う事項です。指導は原則無料ですが、分析手数料・設備使用料をいただく場合があります。

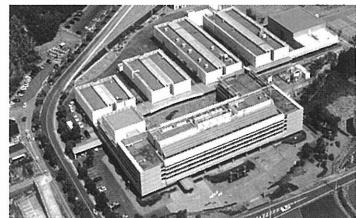
表1 技術相談・指導の件数(件)

	H20年度	H21年度	H22年度
技術相談	4,113	3,509	4,061
技術指導	3,256	3,572	3,439

表2 技術指導・学生指導の申請数(人)

	H20年度	H21年度	H22年度
技術指導	235	425	212
学生指導	26	23	47

織観察、不良発生の原因究明、異物混入、電磁ノイズ対策などがあります。(表1)



霧島市隼人町小田1445-1
電話：0995-43-5111
FAX：0995-64-2111

2 主な成果(商品化の事例)

技術指導の成果として、不具合の原因究明や工程改善・コスト削減につながったケースもあります。また、企業と共同で商品化に至った事例もありますので一部紹介します。乾電池で作動する茶畠の防霜用散水止水装置(図1)、大島紬製造技術を活用した綾縫カシミヤストール(図2)、コンパクトで話題性のあるテントむしと軽キャンピングトレーラー「コロ」(図3)などが最近商品化され、技術的にも高い評価を得られています。当センターは、県内企業のニーズに応えながら今後も技術相談・指導を行つていますのでお気軽にご相談下さい。



図3 テントむしと
軽キャンピングトレーラー「コロ」



図2 綾縫カシミヤストール

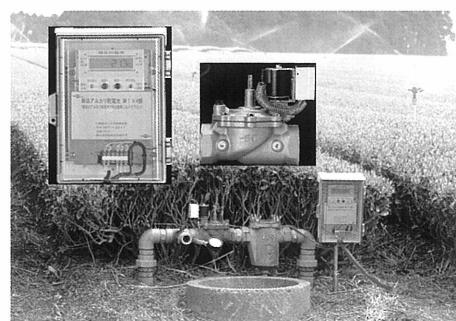


図1 茶畠の防霜用散水止水装置

研究シーズの紹介

この発明を製品化してみませんか？

鹿児島TLOでは鹿児島大学・鹿児島高専・鹿屋体育大学の研究者の研究成果を企業の新規事業等へ活用していただくために、産学官連携や技術移転活動を行っています。今回は鹿児島大学が出願し、鹿児島TLOが移転活動を行っている下記発明を御紹介致します。

バイオマスから低エネルギー・高収率で化学原料を製造する方法

【解決したい課題】

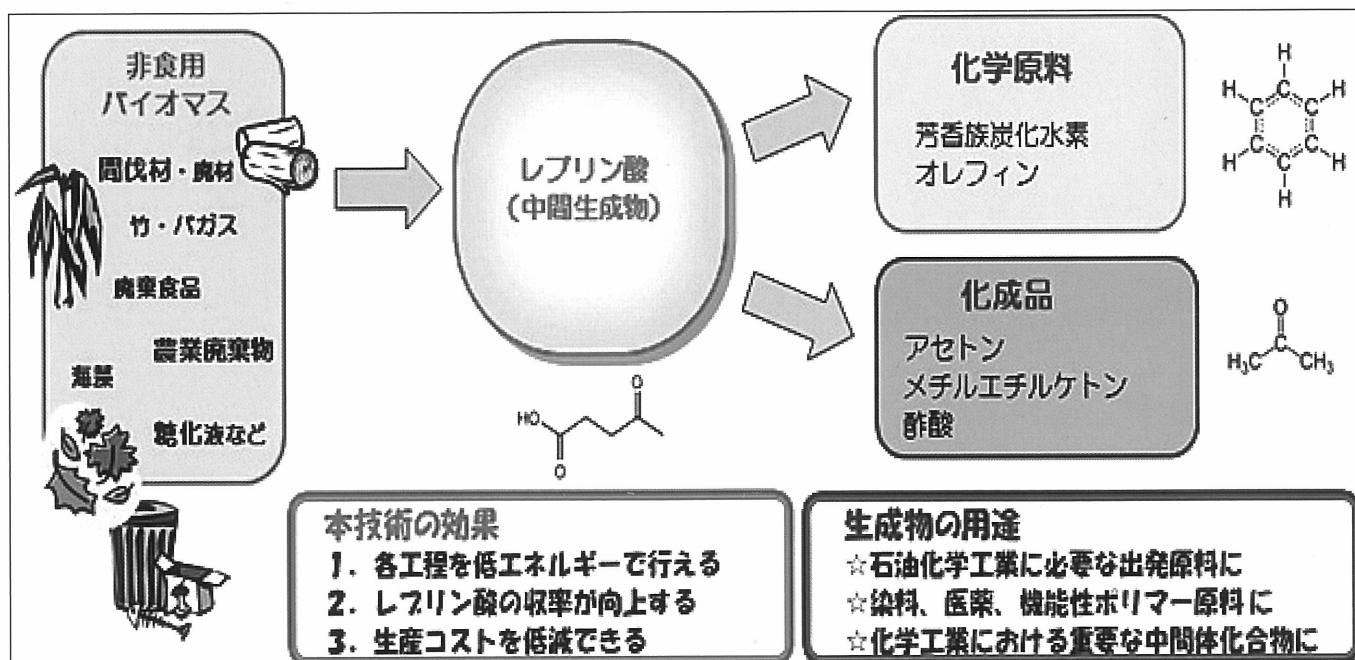
バイオマスを原料として化学原料を製造する方法には、超臨界水による分解やエタノール発酵などがあるが、利用価値の少ない化学物質が生成、多量のCO₂が生成、多大なエネルギーの投入が必要、高コストであるなどの課題がある。

【出願人】 国立大学法人鹿児島大学 【発明者】 鹿児島大学工学部教員

【出願番号】 特願2009-48421 【出願日】 2009年3月2日

【発明の概要】 バイオマスを利用して化学原料を低成本に製造する方法です。

○バイオマスから、副生CO₂をほとんど生成することなく所要エネルギーを低減し、かつ高効率な化学原料を製造するプロセスを見出した!!



【お問い合わせ先】

株式会社鹿児島TLO [\[http://www.ktlo.co.jp/\]](http://www.ktlo.co.jp/)

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学産学連携推進機構棟2階

TEL 099-284-1631 FAX 099-284-1632 E-Mail info@ktlo.co.jp

世界を目指す鹿児島県企業

製造業海外販路開拓支援事業セミナー

(財)かごしま産業支援センターは県の「かごしま製造業振興方針」に基づいて「アジアへの販路開拓支援」を実施するために平成23年8月

5日(金)、鹿児島東急インにおいて「製造業海外販路開拓支援セミナー」を開催しました。

基調講演と事例発表があり、海外展開する際に中小企業に求められる心構え、知識、留意点、マーケティングの手法のポイント等、広汎にわたる講演となりました。講演後は、「海外支援相談コーナー」も設けられました。

■ 基調講演

「中小企業の中国への展開方策について」

董事総經理 岩下 節生氏

【中国は世界最大の市場】

鹿児島のすぐ隣にあり、13億人を超える人口を抱える中国は、今やGDPは日本を抜き世界最大のマーケット化しつつある。

アルバックの中国展開は、1983年に輸出を開始し、最初は「我慢の10年」であった。しかし、洗濯機、冷蔵庫、工アコンの需要が伸び始めた90年過ぎ

から現地合弁会社設立を進め、飛躍的に売り上げが伸び、現在、独資6社を含め、中国アルバックグループ16社1950名の大所帯となつた。

「見る場所が違うと、違う世界が見えてくる。」

鹿児島から世界を見ると世界の情報は、ほんの一握りしか得られず、将に「井の中の蛙」。また、

この「差」は「最大のビジネスのチャンス」であるので、視点を変え、海外へ一步踏み出して頂きた

い。

【中国のシステム、文化と習慣】

中国は共産党が行政をリードし、種々意見がある中でも団結重視で元に角、決定が早いので日本人が驚くケースがよくある。地方自治体も競つて外資誘致を推進して、国営企業は、拡大方針を取り雇用と生活安定化を最重要視している。

しかし、庶民(企業)は国を信用しておらず、独自路線を突き進んでいる。

中国は孔子以来の儒教文化習慣が根底にあり、家族、身内しか信用せず、血縁、地縁を中心とした経営資源の中で、人脈の投資「コネ社会」は、格別のものがある。

【中国ビジネスのポイント】

中国经济成長率は、8%台と安定しており、沿岸部のA級市から

【海外展開の形態】

海外進出で新会社設立においては、三形態が考えられる。(1)単独(独資)進出。(2)相手方に出资。(3)二つの会社が共同で新会社を設立する場合があり(3)のケースは二つの価値観がぶつかるので、相手方を100%信頼できて、意思疎通ができる。判断力、人望があることが必要である。

【中国調達の現状】

現地ベンダー調査を行っては、「郷に入れば郷に従え」の諺のごとく、中国の原料に合う設計をして中国の画面でモノづくりすること。日本流を押し付けては、中国でのビジネスは成立しない。



董事総經理 岩下節生氏

内陸部のB級市への不動産デベロッパーの投資も盛んで、労働人口のUターン化(大学卒業者を含む)が進んでおり、今後は、B級市へ進出を検討する必要がある。

中国で成功する為には、「本当に信頼できる人」人脈を利用し、政府・地方自治体等、正面・裏側の両面から渡り合える人脈が不可欠である。

【中国進出のポイント】

人口13億は最大の財産。地域間格差は最大のビジネスチャンスであり、グローバル化は今しかない。現地でのビジネスは五感機能「目」「耳」「口」をフル活用し、アンテナ全開で、即断即決が求められる国である。

取り組んでいる。

【香港へ出陣】

平成20年9月、地元銀行の香港視察商談会に参加し、「本物のかごしま豚」として香港のマスクミニに大きく取り上げられ、中国富裕層にかごしま黒豚を強くアピールし、人気俳優のジャッキー・チエンにも、かごしまの味を堪能してもらうことができた。

食肉の輸出に関しては、保健所の認可、輸出に関わるルート・期間等様々な障壁があり、幾多の困難を乗り越えてきた。

【本物のかごしま黒豚】

本物の黒豚を求めて平成元年に霧島に移住し、最高峰の黒豚を目指した情熱的な取り組みをしてい。農産県鹿児島のプライドをもつて「かごしまブランド」のかごしま黒豚を追い求めて、生産に

■事例発表2

「富裕層へのステイタス」

今後の海外展開としては、大量販売するのではなく、高級レストラン、ホテル等に集まる中国人富裕層のステイタスとして本物のかごしま黒豚」を香港にしつかり根付かせ香港を『アジアの拠点』ハブマーケットとして大切に育て、中国本土、やがてはアジア全体に販路を大きく広げていく。

■事例発表2

「金属部品の現地生産（ベトナム・中国）現地出荷の成功実例」

(株)九州新城
代表取締役社長 仮屋 俊秀氏

【海外進出のきっかけ】

1995年のバブル崩壊で、不

景気の真只中、コスト削減を計り生き残るため、当時人件費の安い中国、大連に進出。大連工場の経営のすべてを託していた総経理 S 氏が、資材の購入等において妻を

社長としたトンネル会社を通して、通常なら利益私利私欲を貢つて、通常なら利益の出るはずが、年間7000万円程の赤字を出す結果となり解雇。その後、幸い正直ですばらしい中国人と巡り会い、ナンバー2となりました。

【中国での成功のポイント】

「日本語が出来る」心から信頼できる「パートナー」を見つけることが重要。「世界の工場」中国では、「言葉の壁」「商習慣の壁」「人間との壁」と様々な困難を乗り越えることが必要。

【ベトナム進出の決定要因】

2007年頃から元の為替相場が上がり始め、5%上昇した2008年4月に中国からの撤退を決意。次の進出先としては、中国の経験を踏まえ、①「通貨（資金）の安い国」、②「為替変動の勤勉」以上三要素を備えた国の中ベトナムを選定した。

頼できる現地のコンサルタンツと充分な意見交換、打ち合わせを重ね、まず、ベトナム人研修生5名を喜入工場に受け入れ、人材育成を行った。2008年ベトナム、ハノイの北東のデイントラム工業団地に100%の独資で、2000平米の土地を政府から借用期間30年で借り受け、工場建設迄に幾多の困難を乗り越え、2010年5月に工場は稼動を始めた。

【ベトナムの国民性】

ベトナム人は中国人のようにハングリー精神はないが、眞面目、素直で日本人と似ている。ナンバー2パートナーの選任、事前の

人材育成など、九州新城の成功的秘訣は、進出する国の国民性、生活習慣の違いなどを踏まえた上で、経営者の判断力による点が大きい。



(株)九州新城
代表取締役社長 仮屋俊秀氏

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。あっせんの御希望がありましたら御連絡ください。

◆発注情報

*九州合同発注開拓調査（1回目）で発注申し込みがあった一部を掲載しました。

なお、お手元に届くまでにあっせん済みになっている場合もありますので、その際はご了承をお願いいたします。

No.	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件	
					必要設備	材 料
1	大阪府	婦人服	協議	裁断～縫製	本縫いミシン、オーバーロック	シルク、ナイロン コットン
2	広島県	特殊鋼材の 機械加工品	単品発注	機械加工	NCライス、マシニングセンター、5面加工機、NC旋盤 他	特殊鋼各種
3	長崎県	ゴンドラ用部品	協議	製缶、機械加工	製缶、機械加工設備一式	SS、SUS、AL
4	福岡県	自動機部品	協議	切削加工	NC旋盤、マシニングセンター、 複合加工機、平面・円筒研削盤	SUS、AL
5	福岡県	各種装置部品	協議	精密板金、製缶 機械加工	レーザー、タレパン、5面加工 機、溶接設備、製缶設備	SS、SUS、AL

【お問い合わせ先】ビジネス支援課

電話:099-219-1274 FAX:099-219-1279 E-MAIL:business@po.kric.or.jp

取引の紹介・あっせん速報 ~ 平成23年8月末現在

平成23年4月1日から平成23年8月末までの取引の紹介、あっせん状況は、次のとおりです。

あっせん紹介件数	成約件数	取引契約成立当初受注金額
45件	16件	4,360千円

新規登録企業紹介

★ 各企業の希望に応じた取引の紹介・あっせんを円滑に行うために、当センターへの企業登録をお願いしています。登録・取引の紹介・あっせんは、すべて無料です。

登録申込書は、ホームページからダウンロードできます。（<http://www.kric.or.jp>）

★今年度新たに次の企業から登録の申込みがありましたので、御紹介します。

◆受注企業

登録番号	企 業 名	所 在 地	資本金 (万円)	従業員 (人)	業 種	主要製品等
J21107	カクイ(株)	鹿児島市	10,000	141	繊維製品製造業	天然繊維を原料とする脱脂綿、 コットン、油吸着材の製造
J34370	大和工機(株) 国分事業所	霧島市	1,000	9	一般機械器具製造業	各種機械製作、修理、部品加工

「あなたの起業を成功させる ビジネスプラン策定セミナー」 を開催しました

(財)かごしま産業支援センターでは、起業の促進による本県産業の一層の振興を図るため、上野原ビジネスプラザにおいて、7月23日～24日、8月27日～28日の2回にわたり「あなたの起業を成功させるビジネスプラン策定セミナー」を開催いたしました。参加者は鹿児島市のか、中種子町、南さつま市、南大隅町など遠方からの参加もありました。

■セミナー1 「ビジネスプランの作成方法等」

(株)鹿児島地域経済研究所くらしと経営の相談所 所長 切口 朝之 氏

創業の心構え、創業のための融資制度等及びビジネスプランの作り方のほか、ヒット商品や実際に消費者に受け入れられる商品などマーケティングに関する講義がありました。その後は、各自のビジネスプランを作成してプレゼンテーションした後、参加者同士で意見を出し合い、最後に、先生の講評がありました。ビジネスプランの作成方法等については、2日目の午後3時過ぎまで実施されましたが、参加者同士で意見交換が始まるなど参加者にとって有意義な時間となったようです。



■セミナー2 「実際の起業体験」

(株)現場サポート 代表取締役 福留 進一 氏

「才（テクニック）と徳（マインド）の経営を目指して—創業以来6期連続黒字の訳ー」と題して、2日目の午後3時過ぎから1時間講演されました。

起業に至った経緯や経営理念を作る必要性、さらには「経営理念をどのように職員に共有してもらうか」及び「企業の責任は税金を払えるような経営を行うことだ」など、経営についてのノウハウ満載の講演でした。

これから起業しようとする参加者にとっては、身が引き締まりながらもやる気の出る話となりました。



■参加者の声：アンケートより抜粋

- モチベーションが上がりました。
- 事業計画についても細かい指摘があり、起業することに一歩近づけました。
- マネジメントリーダーの大切さがわかりました。
- 信念を持つこと及び信念をスタッフ間で共有することの大切さを再認識しました。

第9回かごしま産業技術賞の募集

(財)かごしま産業支援センターでは、鹿児島県内の企業等が最近3年間に開発した新製品・新技術を公募し、特に優れたものを表彰します。あなたの新商品や新技術ご応募ください。

【賞】大賞(1点)賞状、賞金50万円

奨励賞、特別賞(2点)…賞状、賞金25万円

【応募資格】鹿児島県内に本社若しくは工場等を有する中小企業等(個人を含む)

【対象製品・技術】「第8回かごしま産業技術賞」(平成20年4月実施)以降、原則として最近3年以内に鹿児島県内で開発された新製品または新技術で、実用に供され本県産業の振興に寄与しているもの。

【募集期間】平成23年9月1日(木)～平成23年10月31日(月)

【申込・問合せ先】(財)かごしま産業支援センター 産学官連携課(担当:前野、市来)

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学産学官連携推進機構2F

TEL 099-214-4770 FAX 099-214-4771

ITセミナーのおしらせ

Webマーケティング成功のポイント ～地域活性化のために～



講師 株式会社スプラム 代表取締役 竹内幸次 氏

中小企業診断士として1500社以上の中小企業への経営コンサルティングと
1200回以上の講演実績を持つ。

中小企業にとって、インターネットを活用した電子商取引にはいろいろなメリットがあります。小規模になればなるほど、活用しない手はありません。このセミナーでは、ネットショップによる販路拡大、売上拡大など成功のポイントを事例を交えながらお話しします。既にショップを運営されている方はもちろん、これからネットショップをオープンしようとお考えの方にも役に立つノウハウをたくさん提供いたします。

【日時】10月14日(金) 13:20～14:50 【参加費】無料

【場所】鹿児島サンロイヤルホテル2F 開聞の間

鹿児島市与次郎1-8-10 TEL:099-253-2020

【定員】100名 ※申込み順。定員で締切り。受講票は発行しません。

【申込・問合せ先】(財)かごしま産業支援センター 情報支援課

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号(鹿児島県産業会館2階)

電話:099-219-1275 FAX:099-219-1279 E-mail: info@po.kric.or.jp

情報KISC 9月号

発行者: 財団法人かごしま産業支援センター

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)

FAX 099-219-1279

E-mail kisc@po.kric.or.jp

URL http://www.kric.or.jp